

「世界に一つ!」

加東遺産」を選定

ふるさとの文化財・史跡の価値を再認識し、世界の中のオンリーワンとしてPRする「世界に一つ!加東遺産」を選定するため、六月一日から七月三十一日にかけて市民のみなさまに公募したところ、五十六か所の文化遺産を推薦していただきました。

その推薦を受け、加東遺産決定協議会で協議の結果、次の十か所を「加東遺産」として選定していただきました。

選定された「遺産」は、加東市の宝として、文化、観光の両面で積極的にPRし、まちを活性化する様々な施策に活用していく予定です。

問い合わせ
教育委員会生涯学習課(滝野庁舎)
☎ 48・3532

光明寺 所在地:光明寺

白雉2年(651)に法道仙人により開かれたとされる五峰山山頂にある寺です。『太平記』に記された光明寺合戦の舞台として有名です。5月3日の花まつり(仏生会)は、かつては「滝野の花祭」と呼ばれ、播州一円から参拝者がありました

闘竜灘と鮎漁 所在地:上滝野

闘竜灘は加古川の河床一面に奇岩が起伏し、古くから文人墨客に称えられた景勝地です。加古川舟運の中継地として栄え、播磨内陸の物資と文化の玄関口でした。また、「鮎漁」というこの地独特の鮎漁が生み出され、5月1日の日本一早い鮎漁解禁のニュースは全国に発信されています。

観音寺と赤穂義士菩提所 所在地:家原

寛文11年(1671)、家原に赤穂浅野家の分家が興り、浅野家ゆかりの寺として元禄12年(1699)に観音寺本堂が建立されました。弘化4年(1847)に多くの人々の寄進により四十七士の菩提所が設けられて以来、12月14日に義士祭が行われ、北播磨の義士信仰の拠り所となっています。

佐保神社 所在地:社

北播磨第一といわれる佐保神社は「やしる」の地名の由来になった大社です。市内外に26地区の氏子を持ち、秋の大祭では屋台が勇壮に練り歩き、北播三大祭りの一つに数えられるなど、加東を代表する神社です。

上鴨川住吉神社と神事舞 所在地:上鴨川

国指定重要文化財の上鴨川住吉神社本殿は、正和5年(1316)に創建されました。10月4、5日に奉納される国指定重要無形民俗文化財の神事舞は、鎌倉時代の形態を厳格に留め、継承されています。中世芸能の研究者が一度は見学に訪れる全国的に著名な神事舞踊です。

清水寺と巡礼 所在地:平木

清水寺は御嶽山山頂にある寺院で、西国三十三所観音霊場第二十五番札所として有名です。市内一円には清水寺を案内する道標が多数あり、厚い信仰の歴史を物語っています。寺所蔵の数百点に及ぶ清水寺文書は地域史を知る貴重な資料です。市の天然記念物クリンソウの群生地でもあります。

東条湖と秋津富士 所在地:黒谷、秋津

東条湖は戦後の国営第1号のコンクリートダム湖として、昭和26年(1951)に誕生しました。湖とその一帯は加東市を代表するレジャースポットとなっています。山裾には国指定重要文化財の若宮八幡宮本殿があり、湖北にある標高約320mの「秋津富士」と呼ばれる小高い山には、豊かな自然と眺望が楽しめる登山道が整備されています。

三草山と丹波道 所在地:上三草など

標高423mの三草山西側の谷間は、京都と姫路を結ぶ丹波道(現在の国道372号)が通り、源義経が平家軍を破った三草合戦など、多くの軍兵が進んだ道として何度も歴史の表舞台に登場します。山頂には三草山城跡があり、登山道が整備された今では、ハイキングコースとして市民に親しまれています。

安国寺と足利義教の首塚 所在地:新定

安国寺は国家安泰を願い全国に建てられた寺院で、播磨では新定の地に貞和7年(1347)に建立されました。赤松満祐が將軍足利義教を暗殺した嘉吉の乱の際に、安国寺に義教の首が送られ、法要が営まれました。本堂の裏には「義教の首塚」と呼ばれている宝篋印塔が残されています。

朝光寺と鬼追踊 所在地:畑

白雉2年(651)、法道仙人開創の寺とされ、本堂は国宝に指定されています。境内には、国の重要文化財である鐘楼など多くの文化遺産があります。5月5日に奉納される勇壮な鬼追踊には、多くの見物客が訪れます。付近にはつくばねの滝が流れ、市の天然記念物ツクバネが自生しています。

